

広聴広報委員会会議記録（概要）

令和4年11月25日（金）

開 会（午後3時35分）

【議 事】

○議場コンサートについて

浅野委員長

初めに、議場コンサートについてです。12月定例会の開会に先立ち、12月2日（金）午前9時から開催します。鑑賞希望者は、昨年と同様、先着30人とし、希望者多数の場合は記者席を含め、最大40人としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（委員了承）

例年、最終曲の演奏終了後にアンコールを行っておりますが、演奏者に演奏曲の所要時間を確認したところ、演奏予定の3曲で30分くらいになるとのことですので、アンコールは行わないこととします。会派内で情報共有をお願いいたします。

○市議会だよりについて

浅野委員長

次に、市議会だよりについてです。市議会だより第205号のインタビューと校正会議の日程についてです。演奏者の一居詠子さんと尾島由歌里さんへのインタビューについては、11月30日（水）に議場コンサートのリハーサルと合わせて行うこととなりました。次に、市議会だより第205号（令和5年2月15日発行）の校正会議の日程を決定したいと思

ます。日程については、1月20日（金）と決定していますが、開始時間は午後1時30分よろしいでしょうか。

（委員了承）

それでは市議会だより第205号の校正会議は1月20日（金）午後1時30分から開催します。

○所沢西高校生徒との意見交換会について

浅野委員長

次に、所沢西高校生徒との意見交換会についてです。11月18日（金）に、所沢西高校生徒との意見交換会「とこにしカフェ～所沢の未来をホンネで語ろう～」を開催しました。当日は、3年生の政治経済の授業を選択している34人の生徒に参加していただきました。また、事前にて配信しましたとおり、参加した高校生から「小手指駅南口～所沢西高校」までの通学路の安全対策について要望書が提出され、当日参加していた議長に提出されました。これについての取り扱いについて皆さんで御協議いただきたいと思います。

視察した三重県伊勢市議会の高校生議会では、高校生議会が出た「高校生の視点での市政に対する様々な意見や要望、提案等」を、市議会から市長部局へ共有するため、参加校からの意見等を正副議長から市長に手交しています。

松本委員

私の経験上の話だが、私が所沢高校の生徒会長をしていた56年前から

西所沢駅西口の改札の開設を要望していた。その後、私が議員になってからも校長先生から要望を受けていたが、その際には、所沢高校は県立高校なので、まずは県に要望してほしいと伝えてきた。そして、県から市長に要望をし、市と共同で改善していくようにしてもらっていた。今回は議会ということで市民の代表として受けたので、その辺りの取扱いが難しいと思う。

浅野委員長

事前にある埼玉県議会議員に相談したところ、平成15年に通学路の改善を市議会議員と町内会、所沢西高校で市に要望したところ、砂利道だった通学路が舗装されたという経緯を聞きました。

松本委員

県立高校の生徒が市道の改善について要望した場合は、市で対応するということか。

浅野委員長

道路維持課に確認したところ、改善に向けての検討はできるとの回答がありました。

松本委員

では、今後の意見交換会でも同様の要望が出た場合に、広聴広報委員会は受け付けるということなのか。

浅野委員長

これまでの様々なご意見をいただけてきました。今回は高校のクラスか

らの要望なので、1人ではなくて団体としての要望でした。

福原委員

要望を受けることを否定するわけではないが、これまでに広聴広報委員会の所管するイベント等で要望を受け付けたことがあるのか。また、議会報告会でも意見をお聴きしているが、意見交換会と議会報告会での市民からいただく意見や要望についての取扱いの整合性はどのように考えていくのか。今後、他の高校に出向いた際に要望が出た場合もどんどん受け付けていくことにしていくのか決めるべきだと思う。

末吉委員

政策形成サイクルの中に、市民等からの意見を反映する機会として議会報告会や政策討論会が位置づけられているので、市民からの意見の中で重要だと思われるものは議会として政策に取り入れている。何もかも全てを受け入れるということではなく、その時に応じて取扱いを検討していけばいいと思う。議会として持っているツールを意識しながら意見を聞いていくことが大切ではないか。

平井委員

末吉委員の意見に賛成で、意見が取り入れられれば生徒も喜ぶし、実現されれば実感にもつながるので、意見交換会の成果としてもよいことではないかと思う。

亀山委員

意見交換をした際に市民の声をどのように市に届けるかということ

模擬的に行い、高校生の意見を市政に届ける場があるということを伝えるために行ったものである。その後、その意見を市議会がどのように受け止めるかは先の話だと思う。

末吉委員

政策形成サイクルの中に意見交換会も含めることも検討してはどうか。意見交換会で出た全ての意見を取り入れるというではないが、市民の意見を取り入れて政策に転換していくという議会の役割を果たすツールのひとつと考えるとよいのではないか。

浅野委員長

広聴広報委員会の中で、意見交換会で出た意見や要望の取扱いについて、事前に協議できなかったのが申し訳ありませんでした。所沢西高校の窓口になってくださった教諭は、住民が声をあげることで実現した例として、所沢市でのエアコンの住民投票条例についても授業の中で教えていて、生徒にもそういった体験をさせたいという要望があったので、議会として何かできないかと考えた結果、今回はこのような形での実施となりました。

小林副委員長

主権者教育の一環として、自分から声を上げることで実現できる体験として、請願を提出したいという意見もあり、高校側との打ち合わせをしていく中で要望書という形になった。

越阪部委員

今回は議長が参加していたので、要望書を受け取る流れになった。生徒たちの要望が実現することはよいことだと思うが、福原委員の意見にあるとおり、手続き等を含めた全体の流れを広聴広報委員会の中で共有できてなかった。政策形成サイクルの中での取扱いも含めて、委員会の中で丁寧に検討していったほうがよいと思う。

末吉委員

今回は議長が受け取ることとなったが、各常任委員会で審査するという方法もあると思うので、委員会審査の方法等も検討すべきではないか。

福原委員

生徒たちの気持ちを実現してあげたいという気持ちは分かるが、広聴広報委員会が要望を受けた際に、次は所管委員会で審査するというような議会全体で丁寧に進めていかないと、様々な要望を持つ市民がいるので所沢西高校の要望だけを受けるのは不公平になってしまう。今後のために、意見や要望を受けた際の議論の進め方を決めておく必要があると思う。

浅野委員長

高校生との意見交換会について各委員から様々な意見がありましたが、今後も議論を進めていくということによろしいでしょうか。

(委員了承)

また、至誠自民クラブから、これまで議会報告会は5月と11月に2回ずつ開催しており、今年度はそれに加えて、高校生との意見交換会を実施していたが、多すぎるのではないかという意見がありました。方法として

は、議会報告会と高校生との意見交換会を含めた形で年4回開催することとし、担当については各議員が1回参加するようにして、全員協議会室で開催している議会報告会を年2回、残り2回は地域に出向いて若い市民の意見を聴くというものです。出向く地域の候補として、高校生との交流をするという方法もあると思います。または、中学校単位で報告会を開催して、PTA関係者に参加していただくということもよいと思います。やり方については今後検討していきたいと思いますので、各会派で協議していただきたいと思います。今年度開催した高校生との意見交換会については、事前に高校側と何度も打ち合わせを行ったので、そういった事前準備が広聴広報委員会の正副委員長だけでなく、委員の負担になるのではないかと危惧しています。

石原委員

委員長の提案に賛成します。議会報告会に若い市民の参加が難しいのであれば、学校に出向いて話を聞くということから高校生との意見交換会を始めたので、5月は当初予算の説明もあるので議会報告会を行い、11月は高校生との意見交換会等を検討するという事で年4回開催するという方法もよいのではないかと。

亀山委員

議論の中に、みみ丸カフェも含めて議論したいと思う。

浅野委員長

市民との意見交換会を各議員が年1回担当するという考え方もあると

思いますので、各会派に持ち帰って協議していただくということでよろしいでしょうか。

(委員了承)

それではそのようにお願いします。

○議会報告会について

浅野委員長

11月16日(水)、19日(土)に開催した議会報告会について、「報告書」「9月定例会報告内容に対する質疑及び回答」「市政全般に関する意見・要望等」「アンケート集計結果」をデスクネット配信しています。参加された方から、様々なご意見をいただいておりますので、これにつきまして協議をお願いします。また、今年度5月と11月に開催した議会報告会について、何か皆さんの中で気づいた点や改善点などがありましたら、併せてお願いします。

谷口委員

これまで議会報告会では定例会の中で決まったことを報告していたが、19日の議会報告会では、議員提出議案として廃案になったものを含めた9件を報告し、その詳細についても説明していたため違和感があった。この辺りの取扱いについてもう一度確認したい。

浅野委員長

議員提出議案として廃案になっていたものの中で、旧統一教会関連の議案が何故全会一致にならなかったのかという質問があった際に、提案した

会派名まで説明していたので、これまでの報告の仕方と違うのではないかという意見をいただきました。

平井委員 担当する議員から発言したのか、それとも市民からの質問に対して回答したのか。それによって違ってくると思う。

浅野委員長 担当議員から説明していました。

石原委員 これまでの報告方法と同じように、定例会の中で議決したもののみを報告すべきだと思う。議員提出議案の案として出ただけでは、会派としての主張の段階であり、これまでも議会の意思として、決まったもののみを報告してきた。議会報告会という前提が崩れてしまうので、これまでの報告のやり方を変えるべきではないと思う。

平井委員 担当者が今までと違う報告をしたということか。報告内容は事前に資料に記載されているのではないか。

末吉委員 16日の議会運営委員会の報告を担当したが、報告した議案は第7号と第8号の2件のみである。議会で議論していない内容を報告したことで、議会報告会の在り方と乖離してしまっていることが問題である。また、議案を提案した会派名まで説明してしまったことも問題であり、その点は自

肅したほうがよかったのではないか。

浅野委員長

それでは、議会報告会での報告内容については議決したもののみとする
ということよろしいでしょうか。

(委員了承)

また、「9月定例会報告内容に対する質疑及び回答」にはこれまで検討
機関と検討結果という項目を設けていました。しかし、議決しているにも
かかわらず、報告後に改めて検討するという事に違和感があるので、こ
の項目を削除した形で市議会ホームページに公開したいと思うのですか
よろしいでしょうか。

(委員了承)

○広聴広報委員会の開催日について

浅野委員長

12月定例会は9月定例会と同様に、通年会期制の導入を見越した試行
日程で開催されることが、議会運営委員会で決定されております。

9月定例会では、本会議散会后すぐに委員会を開催できるという理由か
ら、一般質問3日目(9月20日)に開催していました。今定例会以降も、
同様の開催としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員了承)

それでは、今定例会については12月20日(火)本会議散会后に開催
することといたします。

散 会 (午後4時13分)